

報道機関各位

## スリランカの教育に関するシンポジウムを開催します。

熊本大学教育学部特別支援教育学科古田弘子准教授は、このたび、スリランカ（南アジア）の教育に関するシンポジウムを下記のとおり開催します。

古田准教授は、これまでスリランカをフィールドにして障害児の教育実態に関する研究を進めてきました。今回のシンポジウムでは、スリランカのペラデニヤ大学から、ブラサード・セートウンガ博士、シャンティ・ドーソン女史のお二人をお招きし、スリランカの教育について、多様な教育的ニーズのある子どもたちの教育参加を促す、インクルーシブ教育<sup>注1</sup>の観点からお話していただきます。

ブラサード・セートウンガ博士は、教育行政学を専門とし、ペラデニヤ大学の教育大学院において現職教員を対象とする教育養成・研修を担当するほか、「特殊教育」を選択科目の1つとして新規開設し担当しています。

シャンティ・ドーソン女史は、少数民族であるタミル人の居住する紅茶農園地域で、教員・教育事務所担当者として、遅れていた障害児への学校教育の機会提供を進めてきた方です。

つきましては、広く一般の方にも周知して頂くとともに、当日の取材方よろしくお願いたします。

（注1）1994年にユネスコの「サラマンカ声明と行動の枠組み」で提唱されてから世界的潮流となっている教育理念。平成19年度の特設教育から特別支援教育への転換に影響を与えた。

### 記

【テーマ】スリランカの教育—インクルーシブ教育の観点から—

【日 時】平成20年9月23日（火・祝日）13:30～15:30

【会 場】熊本大学くすの木会館レセプションルーム（黒髪北地区）

【発 表】「スリランカにおけるインクルーシブ教育を志向した教員養成」

古田弘子（熊本大学）

「スリランカの教育とペラデニヤ大学教育大学院における取り組み」

ブラサード・セートウンガ（ペラデニヤ大学）\*日本語による発表

「紅茶農園地域の教育実態と障害児への教育提供の拡大」

シャンティ・ドーソン（中央州ハットン教育事務所）\*英語による発表、日本語要約あり

熊本大学ホームページ（イベント）に掲載

参加費無料、事前申し込み不要。

このシンポジウムは日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(B)）を受けて実施するものです。

～お問い合わせ～

熊本大学教育学部特別支援教育学科 古田

電話：080-2700-1562 FAX：096-342-2646

E-Mail: [fh91@educ.kumamoto-u.ac.jp](mailto:fh91@educ.kumamoto-u.ac.jp)